

令和2年(2020年)10月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2020年10月 数 量 (トン)	2020年10月 平均単価 (円)	前年同月比 量	前年同月比 平均単価
1	野 菜	大 根	上旬は北海道産、青森県産中心に、中旬以降は青森県産、千葉県産中心の入荷でした。品質が回復し、順調な出荷となり、入荷は増加しました。平均単価はかなり高く推移しました。	639	104	112%	123%
2		キャベツ	群馬(嬭恋)県産中心に東北産、茨城県産、神奈川県産、千葉県産の入荷でした。順調な出荷により、入荷量はかなり増加しました。平均単価は高く推移しました。	1,038	94	140%	118%
3		きゅうり	不安定な天候が続き出荷量が心配されましたが、順調な出荷により、入荷量はやや増加しました。平均単価はかなり高く推移しました。	342	436	108%	136%
4		ね ぎ	青森県産、山形県産、北海道産中心の入荷でした。入荷量は前年並みでした。平均単価は高く推移しました。	228	401	101%	115%
5		たまねぎ	北海道産中心の入荷でした。入荷量はやや減少しました。平均単価は安く推移しました。	812	75	94%	95%
6	果 実	早生みかん	昨年より食味(糖度が高い)が良好で、下位等級物の出荷や他市場集荷もあり、全体的に入荷量はかなり増加しました。平均単価は高く推移しました。	487	231	122%	112%
7		つがる	前月の出荷遅れの影響により、入荷量は大幅に増加しました。平均単価は安く推移しました。	14	225	152%	80%
8		平核無	和歌山県産、奈良県産中心の入荷でした。前月の出荷遅れの影響により、入荷量は大幅に増加しました。平均単価は高く推移しました。	26	317	165%	120%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+)0~2%
- ②やや増加(減少):(+) 3~10%
- ③増加(減少):(+)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+)51%以上